FLORA NEWS

January 2020

新　年　の　ご　挨　拶

謹んで新春のお祝いを申し上げます。
旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。

おかげさまで株式会社アイフローラは本年創立 20 周年を迎えます。
この記念すべき 20 周年という節目の年を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で支えてくださった皆さまのご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

創業当時はまだ腸内細菌があまり注目されておらず、乳酸菌食品もいわゆる健康食品の中の一つと考えられていました。しかし近年、腸内細菌と心身との関わりが広く報じられるようになり、数多ある乳酸菌の中から何を選択すべきかというように世の中の意識が大きく変化しました。

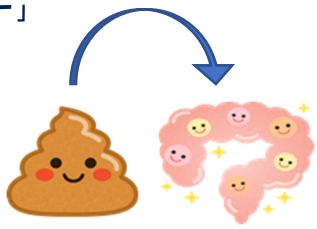
今後さらに腸内細菌への関心は高まり、選択肢も増えていくことが想定されます。その中でアイフローラが「選ばれる乳酸菌食品」であり続けるために、品質と安全性の堅持ならびに製品の安定供給など誠心誠意尽力し、皆様がより健康的な暮らしを実現にするためのよきパートナーとなれることを目指してまいります。

本年も変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社アイフローラ
代表取締役　森 幸久

糞便微生物移植って何？

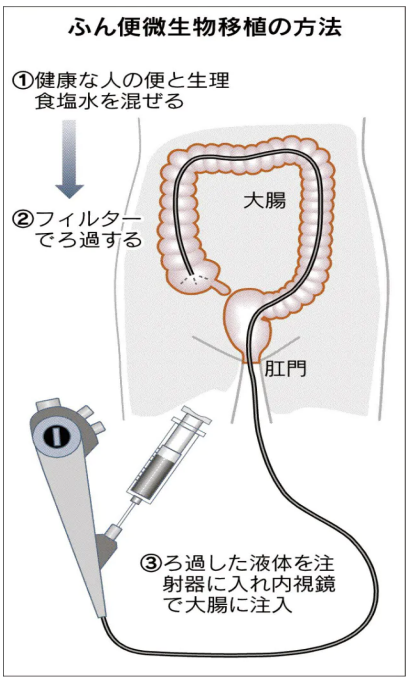
2015年2月のNHKスペシャル「腸内フローラ～解明！驚異の細菌パワー」
の放送から注目されるようになった糞便微生物移植。
特に抗生物質が効かない腸疾患への治療効果が高いということで
新たな治療法として期待されております。



実はこの糞便微生物移植、世界的には紀元4世紀から行われていました。
しかし1960年代からこの治療法はほとんど行われなくなりました。
その理由はペニシリンに始まる抗生物質が誕生したことにより「何も便で治さなくても悪い菌は全部抗生物質で退治すればよい」ということになってしまったからです。

抗生物質を使用すればそれに負けない耐性菌が誕生します。
最後の切札である最強の抗生物質に耐性をもった細菌が既に存在しています。
昨年12月、薬剤耐性菌により国内で年間8千人以上が亡くなっているとの推計を
国立国際医療研究センターが初めて公表しました。

このまま抗生物質の使用を続ければ、その先にどんな世界が待ち受けているのかは想像に難くありません。抗生物質を完全に否定するわけではありませんが、ここは一度立ち止まり新薬開発に期待する一方で本来の自然なスタイルに後戻りする勇気も必要かもしれません。



ふん便微生物移植で改善が期待される症状

・潰瘍性大腸炎・クローン病・糖尿病・過敏性腸症候群
・アレルギー・メタボリックシンドローム・うつ病、躁うつ病
・便秘症・パーキンソン病・広汎性発達障害

（一般財団法人　腸内フローラ移植臨床研究会HPより）

移植費用

・腸内フローラ移植６か月コース（移植６回込）税抜き1,792,000円
・腸内フローラ移植３か月コース（移植３回込）税抜き1,092,000円

（一般財団法人　腸内フローラ移植臨床研究会HPより2019年12月現在）

移植により起こりうる可能性（リスク）

・体型の変化・体質の変化・性格の変化

アイフローラは腸内細菌叢を健やかに保つシンバイオティクス食品です。

（※シンバイオティクス食品とはプロバイオティクスとプレバイオティクスが組み合わされた食品のことです）